



だんだんと冬が近づき、日も短くなってきました。今の時期の暖かくて穏やかな天気のことを「小春日和」といいます。小春日和に紅葉を見ながら季節を感じるのもいいですね。また、これからの時期は空気が乾燥し、ウィルスが活発に活動し始める時期でもあります。たっぷり睡眠、栄養バランスの良い食事、適度な運動で免疫力を高めましょう。

2021.11.19
唐津商業定時制
保健室

11月5日(金)おにぎりアクション・給食廃棄ご飯“0”チャレンジを行いました！

おにぎりアクションってなあに??

世界と日本と本校の食料事情を知っていますか??



おにぎりで 世界を変える

私たちの食を通じて、
ちょっとだけ世界を良くする
あなたがおにぎりを食べると、世界の子どもたちに給食が届く

10.5 TUE - 11.5 FRI

現在の投稿枚数 **49,783**枚

おにぎりアクションは、TABLE FOR TWO が取り組む、活動の一つです。おにぎりの写真を撮り、SNS に#OnigiriAction とともに発信することで、アフリカ・アジアの子どもたちへ給食を届けよう！という活動です。SDGsの「飢餓をゼロに」の目標達成に向けた取り組みでもあります。

世界の食料事情について、「飢餓」問題が大きな問題であることを学びました。2018年には9人に1人が飢餓状態にあり、新型コロナウイルスが流行した2020年には、アフリカ人口の5人に1人以上が栄養不足であること、また、世界で30億人が「値段が高い」という理由で健康的な食料を手に入れられない状況があるということを知りました。食べ物があふれる日本では考え難いことかもしれませんが、これが世界の現実です。

日本ではどんな食の問題があるのか、というと「食品ロス」が問題となっています。「1日ひとりおにぎり1個分」の食料が捨てられ、年間2700万トン以上の食料が捨てられているのが現実です。他にも、農家の減少による食料生産の問題もあります。食が豊かな日本でも問題はあります。

本校の食の問題はというと、給食を食べる人が少なく、毎日20食程度の食事が食べられないまま廃棄されます。この食事があれば世界や日本で何人の方が飢餓や栄養不足で悩まなくてよくなるのでしょうか。

「明るい食の未来」にするために、私たちができることは何かを考えました。「食事は残さず食べる」「必要量以上の食品を購入しない」「地域で採れた食材を購入する」「給食を食べにくる」など、それぞれに考えてくれました。

この日くらいは、廃棄ご飯を「0」にしてみようとおにぎりにしてもらい、おにぎりアクションに取り組みました。普段、給食を食べないみんなもおにぎりを食べてくれました!!

写真投稿方法

- 必要なものはおにぎりだけ
- 投稿は無料です
- 期間中何度でも投稿できます
- 1投稿につき給食5食が届く
- おにぎりは作っても買ってもOK
- おにぎりだけの写真でもOK

つくろう。食べよう。

あの人に、あの子に、わたしに。愛を込めてにぎる「おにぎり」。その「誰かのため」の気持ちに、世界の子供たちへの想いも込めて。あなたがおにぎりを食べると、アフリカ・アジアの子どもたちにも温かい給食が届く。



onigiri-action.com



ニンジンご飯をおにぎりに!



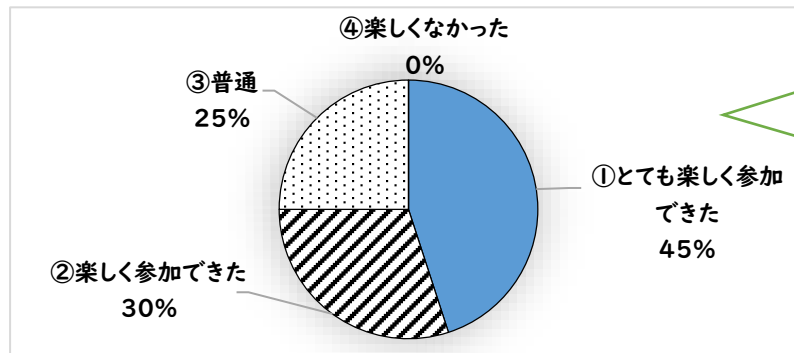
美味しく、楽しく
OnigiriAction
(^o^)(^o^)



命名
おにぎりくん

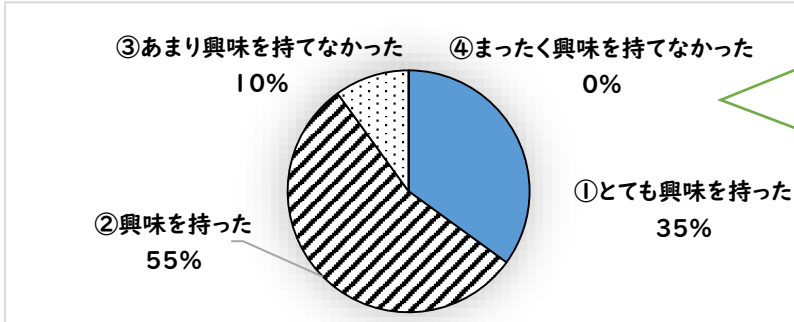
おにぎりアクション・給食廃棄ご飯“0”チャレンジを終えて

1. 今日の「おにぎりアクション・給食廃棄ご飯ゼロチャレンジ」はどうでしたか？



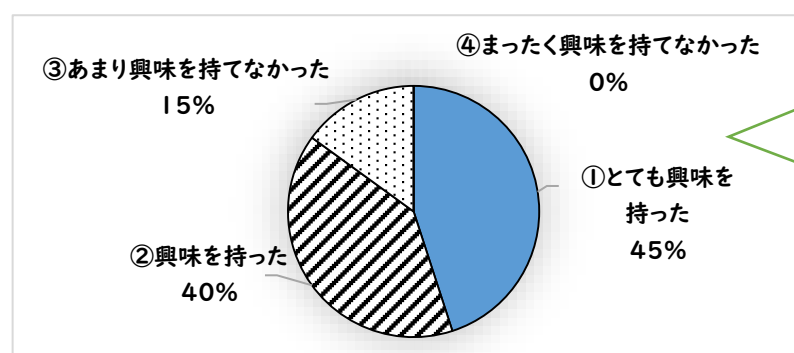
・みんなと食べられて楽しかった。
 ・おにぎりがおいしかった。
 ・子どもたちに給食が届いてほしい。

2. 今日のお話の中で、世界の食料事情について、どう感じましたか？



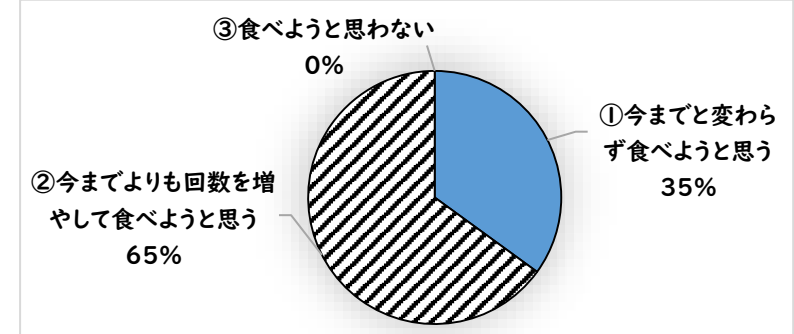
・食べられない人がこんなにもいるんだと思った。
 ・ご飯を食べられない人がアフリカにたくさんいることに驚いた。
 ・食べ残しを少なくしようと思った。

3. 今日のお話の中で、日本の食料事情について、どう感じましたか？



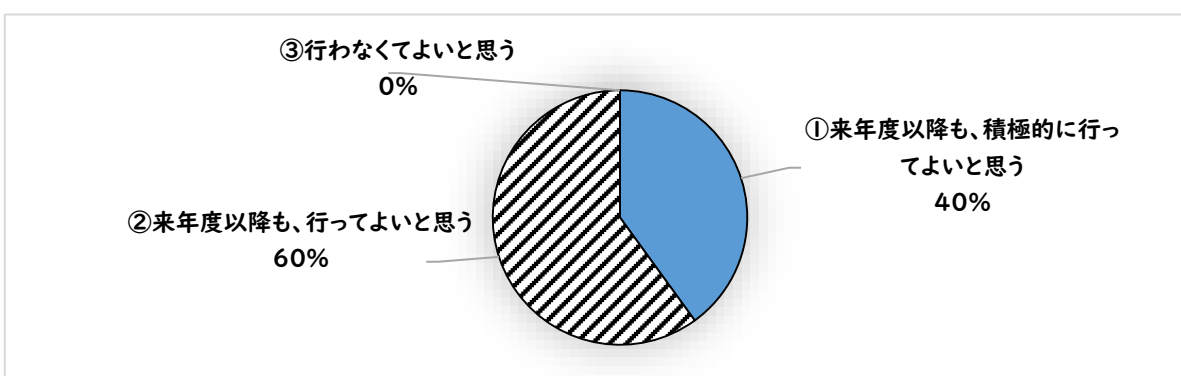
・日本で捨てられる量に驚いた。
 ・廃棄量が多く、これからどんな取り組みをされるのか気になった。
 ・日本で生産されたものを食べようと思った。

4. 今後、給食を食べようと思いますか？

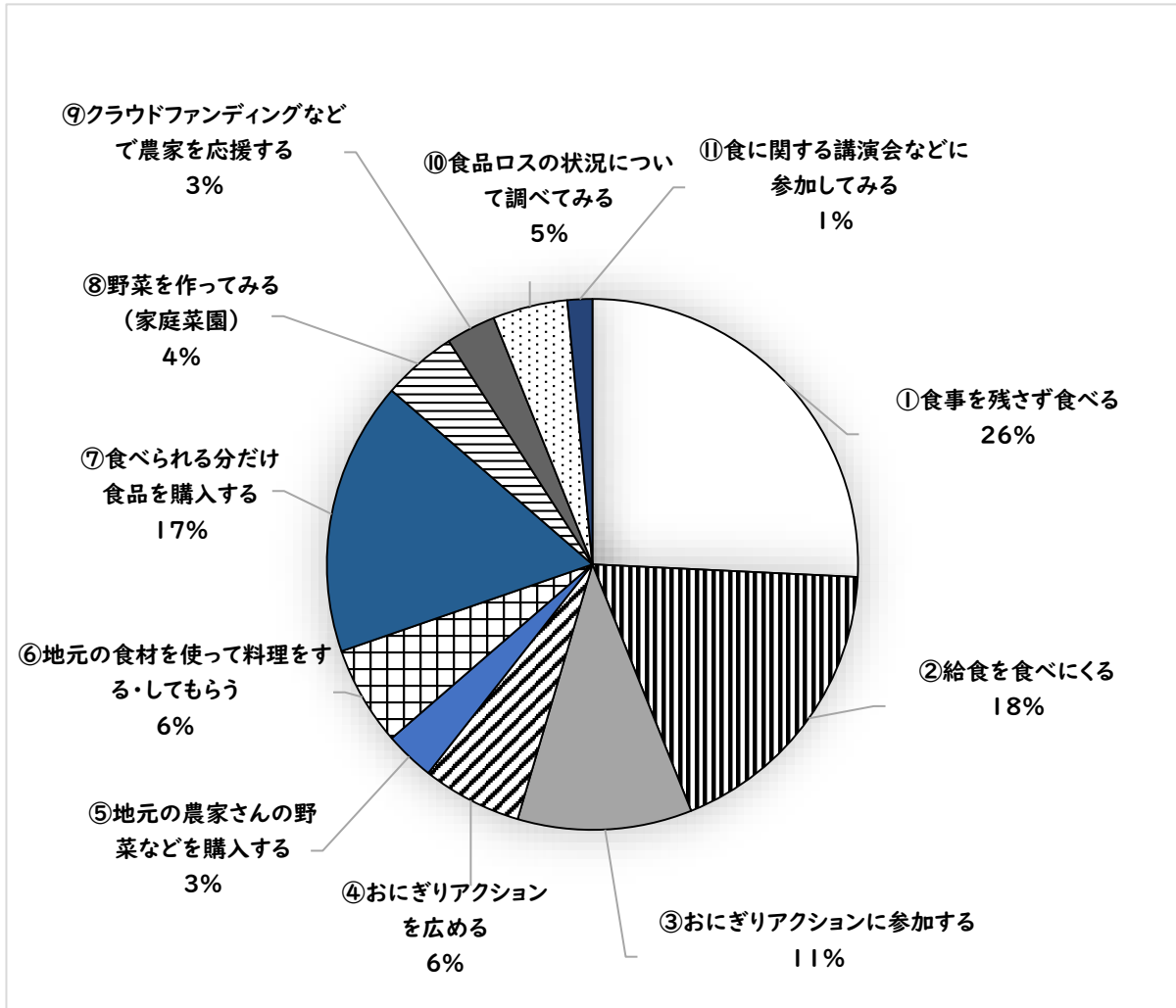


「今までよりも回数を増やして食べようと思う」と回答してくれた生徒が多かったことは、とても嬉しかったです！給食室で待っています(^v^)

5. 来年度以降も、おにぎりアクションの取組を本校で行うことについてどう思いますか？



6. 今後、食の未来を明るくするために、あなたがやっといこうと思うことはありますか？



これだけたくさんのことを「やっといこう」と思ってくれた皆さんの食の未来は明るいものになるでしょう。毎日の食事、これまでの食事をもう一度振り返ってみて、今自分にできることから始めていきましょう!!